

8～9月咲小ぎくの品種特性

(園試 野菜花き部)

1. 背景とねらい

本県の花き生産は、りんどうを主体に着実に伸長しているが、これに次ぐ夏秋品目の開発が強く望まれている。

小ぎくは、夏秋期の需要量が多いこと、栽培が比較的容易で資材費も少なく、軽労働主体の土地利用品目であること等から県では重点品目に位置づけ振興をはかっている。

小ぎくは、また周年、安定した需要があり、これに対応して開花期別、色別に数多くの品種が発表されている。従って本県において、色別に長期生産出荷が可能な品種の選定が必要である。

以上の背景にもとづいて昭和60年より現有品種の特性調査を行った結果、その特性が明らかとなったので指導上の参考に供する。

2. 技術の内容

1) 小ぎくの長期継続出荷のため、今回8～9月咲ぎくについて、花色別開花期、草姿、耐病性等の特性を明らかにし、品種導入にあたっての参考資料とする。

2) 特性を調査した品種数は次の通りである。

8月咲：白系3，赤系2，桃系5，黄系4

9月咲：" 4，" 3，" 2，" 4

3) 適応地域 県下全域

3. 指導上の留意事項

1) 8月咲き品種である「寿美」，「由美」，「千代」等は温度感応型品種のため、気候の変動や栽培地域によっては、開花期が変動することがある。一方、「かぐら」，「夕風」は日長感応型のため花期の変動は少なく、「かもめ」は中間型である。

2) 「千代」は盛夏期に開花する数少ない色あせしにくい桃色品種である。しかし、ごくわずかに白さび病の発生が認められる事があるので、梅雨期及び秋雨期の防除を徹底して行う。

3) 「かぐら」，「かもめ」は冬至芽数が少ないので増殖にあたっては注意が必要である。

4) アブラムシ、ハダニの発生は著しく商品価値を低下されるので、早期から定期的防除が必要である。

4. 当該事項にかかる試験研究課題名

夏秋咲小ぎくの品種選抜

5. 参考文献

昭和60年度 岩手園試花き試験成績書

昭和61年度 "

6. 試験成績の概要

1) 試験方法

- | | | |
|----------|----------------|--|
| (1) 定植期 | 7. 8月咲：冬至芽利用 | 4月中旬定植 |
| | 9. 10月咲：さし芽苗利用 | 5月中旬定植 |
| (2) 栽植密度 | 畦巾120cm | 株間15cm 条間30cm 2条植 定植本数 11,110本 |
| (3) 施肥量 | N 20～25kg | P ₂ O ₅ 15～20kg K ₂ O 20～25kg |

2) 主要な試験データ

表1 (その1) 8. 9月咲き小ぎくの品種特性調査¹⁾

調査項目	採花始め	採花終り	花姿	切花長	2) 花数	3) 花弁長	4) 花茎	5) 分枝数	6) 葉の立性	7) 葉の色	8) 葉の光沢	9) 葉の大きさ	10) 茎の硬さ	11) 葉の病	12) 白さび病の罹病	13) 冬至芽数 (株当り)	14) 花の退色	15) 総合評価		
白系	早雲	7. 27	8. 9	∩	70.2	57.2	1.5	3.8	10.8	+	+	+	小	+	0.42	+	11.3	-	○	
	白浜 ¹¹⁾	8. 12	8. 20	∩	77.0	41.0	1.2	3.4	9.6	+	+	+	小	+	0.48	-	34.7	-		
	(8. 20)	(8. 30)		(119.4)	(61.6)			(14.4)												
	由美	8. 25	9. 6	∇	80.1	42.9	1.9	4.6	7.9	+	+	+	中	±	0.44	-	11.8	-		◎
	やまから	9. 18	9. 25	∩	83.9	55.1	1.8	4.7	11.9	+	+	+	小	±	0.48	-	17.7	-		◎
	白秋	9. 22	10. 1	∩	91.0	35.1	1.8	4.9	7.4	+	+	+	中	±	0.41	+	12.6	-		
あゆみ	9. 24	10. 1	∩	83.3	33.2	1.6	4.3	8.4	+	+	+	中	±	0.41	+	14.7	-	◎		
かくら	9. 28	10. 4	∇	81.7	53.9	2.0	5.1	7.6	+	+	+	中	±	0.43	-	7.8	-			
赤系	もみじ狩り	8. 13	8. 21	∩	92.2	71.6	1.9	4.5	7.5	+	+	+	中	+	0.43	-	11.3	-	○	
	美保	8. 25	9. 2	∩	97.9	62.1	1.9	4.6	11.2	+	+	+	中	±	0.44	-	10.5	±		
	美紗	9. 7	9. 14	∩	58.6	36.8	2.2	5.4	9.8	+	+	+	小	+	0.42	-	10.5	-		
	染衣	9. 18	9. 25	∇	86.9	39.7	2.1	5.6	6.3	+	+	+	中	+	0.56	+	10.8	-		
花の里	9. 19	9. 27	∇~∩	100.4	39.6	1.6	4.5	5.9	+	+	+	中	+	0.45	-	12.0	-	○		
桃系	千代	8. 1	8. 10	∇	83.3	50.7	1.9	4.6	11.4	+	+	+	中	±	0.45	±~-	18.0	-	◎	
	真知	8. 5	8. 10	∩	70.0	24.6	1.4	4.0	7.2	+	+	+	中	+	0.38	-	12.2	+		
	好美	8. 5	8. 13	∩	76.9	48.8	1.2	3.0	10.3	+	+	+	中	+	0.36	-	28.0	+		
	ふりそで	8. 5	8. 10	∩	77.2	57.1	2.2	5.1	9.7	+	+	+	中	+	0.42	-	13.4	+		
	真弓	8. 12	8. 17	∩	79.6	41.8	1.4	4.0	8.5	+	+	+	中	+	0.43	-	14.2	+		
	かもめ	9. 13	9. 22	∇	84.3	59.1	2.0	5.4	7.6	+	+	+	中	±	0.48	-	7.5	-		◎
もも代	9. 24	10. 2	∇~∩	90.2	55.5	1.9	4.5	6.6	+	+	+	中	±	0.44	-	11.4	-	○		
黄系	寿美	8. 5	8. 11	∩	86.7	44.1	1.4	3.7	11.3	+	+	+	中	+	0.46	-	19.3	-	◎	
	登紀	8. 17	8. 26	∇~∩	87.2	60.7	1.1	3.1	22.5	+	+	+	小	+	0.42	-	16.7	-		
	秋水	8. 26	9. 2	∇~∩	84.1	57.9	1.3	3.6	7.9	+	+	+	中	+	0.46	-	21.3	-		
	千栄	8. 28	9. 6	∇	96.2	48.8	2.0	4.8	8.1	+	+	+	小	+	0.45	+	32.3	-		
	千登世	9. 9	9. 13	∩	71.0	20.1	1.7	4.5	7.5	+	+	+	小	+	0.41	-	11.7	-		
	新志津	9. 16	9. 27	∩	80.1	40.7	1.7	4.5	9.7	+	+	+	小	+	0.46	-	11.7	-		
	つばね	9. 29	10. 6	∇	74.1	96.5	1.0	3.2	12.5	+	+	+	小	±~	0.46	-	13.3	-		
夕風	9. 30	10. 2	∇	84.3	71.4	1.5	4.1	7.8	+	+	+	小	+	0.46	-	16.2	-	◎		

注) 1) : 調査は1品種20株より各々1本採花して調査し、60、61年の平均値で示した
 2) : 花数は採花時点で、直径5mm以上の蕾を対象とした
 3) : 花弁長は完全に開花した中層な花を1株より1花、計20花選り調査した
 4) : 分枝数は結実時の覆り部分を除いた後の10cm以上の枝を分枝として調査した
 5) : 葉の立性 + 並
 + 立性
 + かなりの立性
 6) : 葉色 + 並
 + 濃い
 + かなり濃い
 7) : 葉の光沢 + 並
 + 有り
 + かなり有る
 8) : 茎の硬さ - 軟
 ± 並
 + 堅
 9) : 白さび病 - 無
 の罹病 ± 極微
 + 小発生
 + 中発生
 10) : 花の退色 - 無
 ± わずかに認められる
 + 認められる
 11) 「白浜」は、一部の調査項目において2か年の調査結果に大差が生じたので61年の結果を()で示した。
 12) ◎: 極めて有望
 ○: 有望